iE

デジタルIPビジネスホン

NYC-iE

技術基準適合認証品

●このたびは、ナカヨ　デジタルビジネスホン「NYC-iE」シリーズをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。
お読みになった後も、本商品のそばなどいつもお手元においてお使いください。
●この「取扱説明書」は「NYC-iE」シリーズの各主装置で使用することができますが、ご使用になる主装置によって一部ご利用できない機能や内容が異なる場合があります。
下記のように記号を表示していますので、ご使用になる主装置に対応した説明をお読みください。
記号のない説明は、全機種共通です。
また、主装置によって電話機の画面表示が多少異なる場合があります。
S：NYC-iE/Sの仕様またはNYC-iE/Sでご利用できる機能
M：NYC-iE/Mの仕様またはNYC-iE/Mでご利用できる機能
L：NYC-iE/Lの仕様またはNYC-iE/Lでご利用できる機能
●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店にお申しつけください。
●この電話システムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外では使用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
●本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規則ならびに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
●本装置（オプション用品等も含む）の故障、誤作動、不具合、あるいは停電等の外部要因によって正常に機能しなかったことによる付随的な補償や、通話などの機会を逸したために発生した損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●本製品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので絶対におやめください。

指定電話機	◆お客様の設定は次のとおりです。 ☐ ① 全ての電話機 ☐ ② ＿＿番と＿＿番の電話機	【取付けされる方へ】 左記☑印および電話機番号（内線番号） を記入し、お客様にご説明ください。

NAKAYO

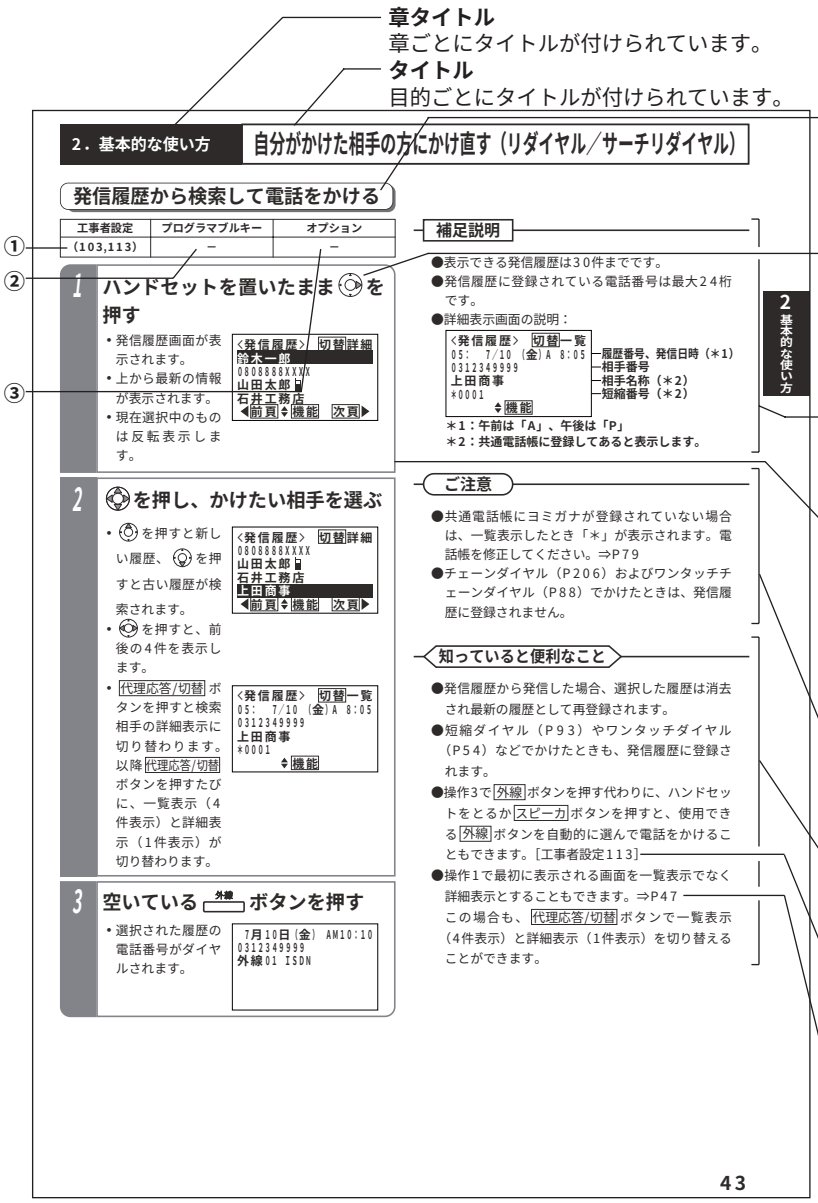
目次

ご利用前に ・・・p.1
１．カレンダー・時計の設定 ・・・p.5
・年、月、日、曜日の設定
・時計の調整
２．音量の調整 ・・・p.6
・外線、内線
・ドアホン、スピーカ
・ハンドセット
３．電話帳の登録 ・・・p.9
４．ワンタッチダイヤルボタンの登録 ・・・p.13
５．履歴 ・・・p.15
・発信履歴からの発信、電話帳登録
・着信履歴からの発信、電話帳登録
６．着信拒否 ・・・p.19
・特定番号からの拒否
・非通知着信の拒否
７．留守番（留守録モード） ・・・p.25
８．留守番（転送モード） ・・・p.28
９．プログラマブルキー登録 ・・・p.31
（付録）電話機の使い方早見表 ・・・p.32

※　参照ページなどに関しては、取扱説明書をご参照ください。

この取扱説明書の見方

操作説明のページの構成は次のようになっています。



表の説明（項目によっては本表がない場合もあります）

①工事者設定

主装置側にシステムデータの設定が必要な場合に、該当する工事者設定のNo.を示します。（　）で示してあるものは、ご利用内容によっては必要な場合があります。システムデータの設定は、販売店にご依頼ください。

②プログラマブルキー

プログラマブルキーの登録が必要な場合に、登録するプログラマブルキーの名称を示します。（プログラマブルキーの登録方法はP288をご覧ください。）

③オプション

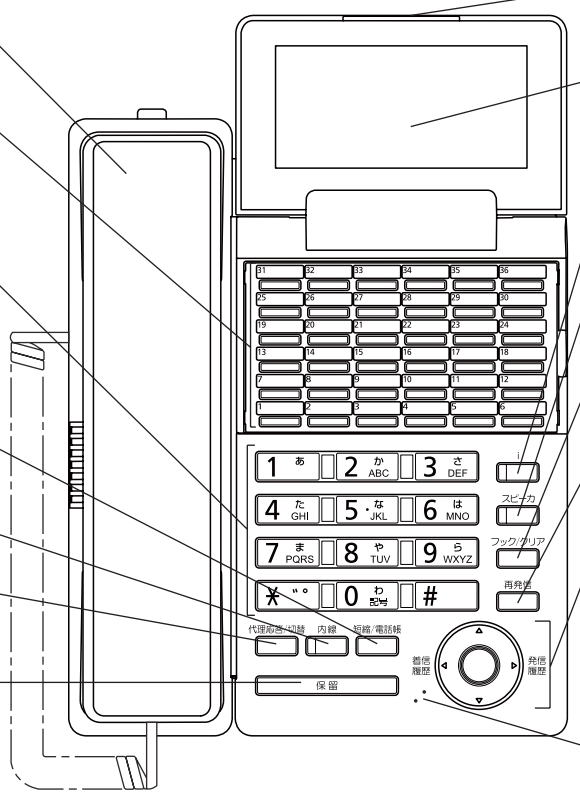
本機能をご利用する場合に必要となるオプション用品を示します。詳しくは販売店にお問い合わせください。

お知らせ 既に本装置をご使用のお客様で本取扱説明書のみを新たにお買い求めになった場合、＜プログラム版数1-2版より可能＞（一例）が記載されている項目は、主装置のバージョンによってはご利用できない場合があります。主装置のバージョンについては、販売店にお問い合わせください。

各部の名前とはたらき

各部の名前

図の電話機は36ボタンタイプです。



- ハンドセット
  相手とお話しするときに使います。
- 外線／（プログラマブルキー）ボタン（ランプ付き）※1
  外へ電話をかけるとき、外から電話を受けるときに使います。外線を登録していないボタンは、プログラマブルキーとして使います。また、ランプについては自分で使っている場合は（緑）、他の人が使っている場合は（赤）で表示します。
- ダイヤルボタン
  外へ電話をかけるときや、内線呼出をするときに使います。また、漢字やカナ文字を登録するときにも使います。
  ISDN外線を使用するとき、相手番号を押した後に#を押すと、すぐにダイヤルを送ることができます。（P33をご参照ください。）
- 短縮／電話帳ボタン※2
  短縮ダイヤルの登録、発信時に使います。また、電子電話帳の登録や検索をするときにも使います。
- 内線ボタン（ランプ付き）
  内線発信のときに使います。
- 代理応答／切替ボタン※2
  他の電話機の着信に応答するときや、電話帳検索の一覧表示／詳細表示の切替を行うときなどに使います。
- 保留ボタン
  外線・内線の通話を保留するときに使います。

- 着信／メッセージランプ
  着信、保留、メッセージ等の状態をランプで表示します。
- ディジタル表示部
  日時、ダイヤル番号、通話料金などが表示されます。
  （半角20文字、全角10文字6行）
- iボタン（ランプ付き）※2
  いろいろな機能を設定するときに使います。
- スピーカボタン（ランプ付き）
  このボタンを押すと（点灯しているとき）、ハンドセットを上げた状態と同じ働きをします。
- フック/クリアボタン
  このボタンを押すと、一度ハンドセットを置いた（通話が切れる）状態になります。また、キャッチホンにも使用できます。
- 再発信ボタン
  最後にかけた番号をもう一度ダイヤルするときに使います。
- カーソルキー（センターキー付き）
  メニュー機能で使います。また下記の用途で使うこともできます。
  …待機中や通話中、着信中の音量調整に使います。
  …待機中に操作すると発信履歴を表示します。※2
  …待機中に操作すると着信履歴を表示します。※2
- マイク
  内線ハンズフリー応答（ハンドセットを取らずに応答する）及びハンズフリー通話のときに使います。

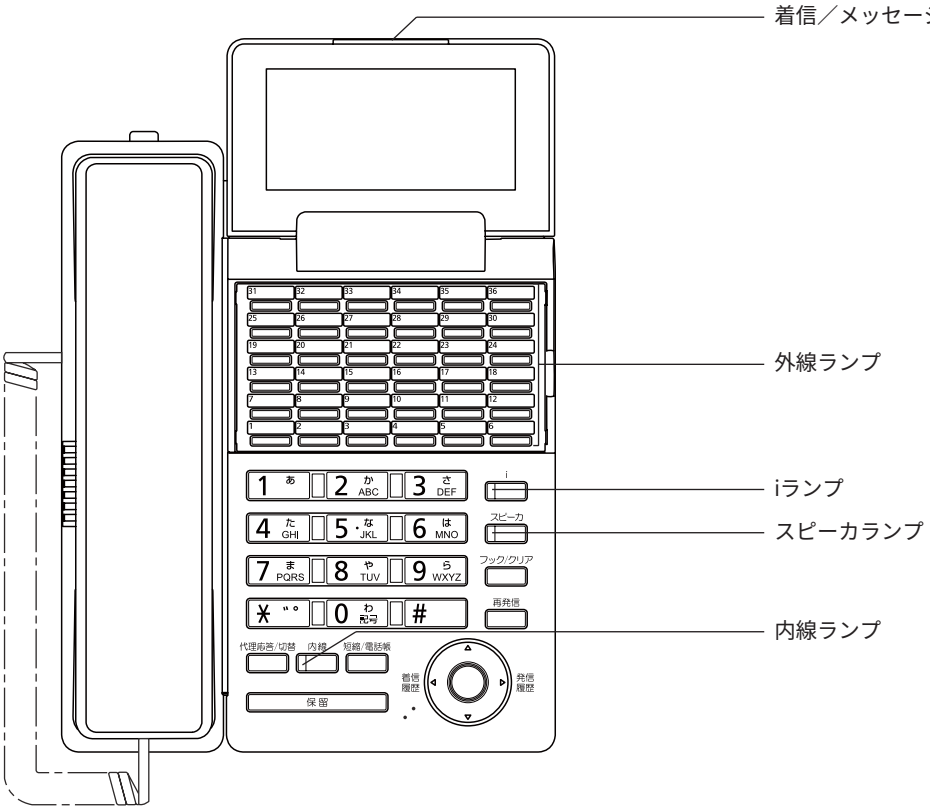
卓上タイプのボタン電話機の種類は下記のとおりです。

No.	種類	略号	概要
1	標準電話機	SD	
2	センサ付電話機	SSD	センサ付き
3	ディジタルハンドルコードレス電話機	DHCL	ハンドルコードレス
4	IP標準電話機	IPSD	IP電話機
5	IP大型LCD電話機	IPLD	大型LCD付きIP電話機
6	CTI用電話機	CTI	CTI用USBコネクタ付き

※1：プログラマブルキーとは、使用していない外線ボタンをワンタッチダイヤルや各機能ボタンに登録して、自分に合った電話機にするためのボタンのことです。（P288をご参照ください。）
※2：受付や応接室などに電話機を設置するとき、これらのボタンやセンターキーの操作を禁止し、電話帳や履歴等を見られないようにすることができます（ボタン電話機使用制限）。［工事者設定671］＜プログラム版数2-1版より＞

各部の名前とはたらき

ランプの表示



ランプの種類と表示

ランプの種類	ランプの表示（色）		電話機の状態
着信／メッセージランプ	速い点滅	（赤）	電話がかかってきたとき 保留警報中のとき
	遅い点滅	（赤）	通話を保留中のとき
	点灯	（赤）	未再生の留守録メッセージがあるとき
外線ランプ	点灯中、周期的に2回消える	（緑）	自分の電話機で通話中のとき
	点灯	（赤）	他の内線電話機が外線と通話中のとき
	周期的に2回点滅	（緑）	自分の電話機が外線保留中のとき
	速い点滅	（緑）	電話がかかってきたとき（DIL等）
	速い点滅	（赤）	電話がかかってきたとき
	遅い点滅	（赤）	他の内線電話機が外線保留中のとき
	周期的に4回点滅	（緑）	保留警報中のとき
内線ランプ	点灯中、周期的に2回消える	（赤）	自分の電話で通話中のとき
	速い点滅	（赤）	内線、DID、DI着信中のとき
	周期的に4回点灯	（赤）	ドアホン着信中のとき
iランプ	点灯	（赤）	メニュー機能で機能選択中のとき
	遅い点滅	（赤）	設定データ入力中のとき
	速い点滅	（赤）	設定OKのとき
スピーカランプ	点灯	（赤）	スピーカONのとき

メニュー機能の使い方

メニュー機能の操作方法

いろいろな機能の、設定内容の確認や変更をしたりするときには、メニュー機能を使用します。ここでは、メニュー機能の操作方法を紹介します。それぞれの機能の具体的な操作方法については、各機能のページを参照してください。

■例：留守切替をONにする

1 ◎を押す

・メニュートップ画面が表示されます。

```
◆ﾒﾆｭｰ◆
1 共通電話帳
2 ﾏｲ電話帳
3 履歴
4 内線電話帳
◀終了 ▲▼決定 次頁▶
```

2 ◎を押して目的の機能を選択し、◎を押す

・選択されている機能は、反転表示します。「留守切替」はメインメニュー画面の**「5 各種機能切替」**に含まれます。

```
◆ﾒﾆｭｰ◆
2 ﾏｲ電話帳
3 履歴
4 内線電話帳
5 各種機能切替
◀終了 ▲▼決定 次頁▶
```

3 ◎を押して目的の機能を選択し、◎を押す

・**「1 留守切替」**を選択します。

```
〈各種機能切替〉
1 留守切替
2 夜間切替
3 留守録通知
4 非通知着信拒否
◀戻る ▲▼決定 次頁▶
```

4 ◎を押して動作を選択し、◎を押す

・**「1 ON」**を選択します。

```
〈留守切替〉
0 OFF
1 ON

◀戻る ▲▼決定
```

5 設定完了画面が表示される

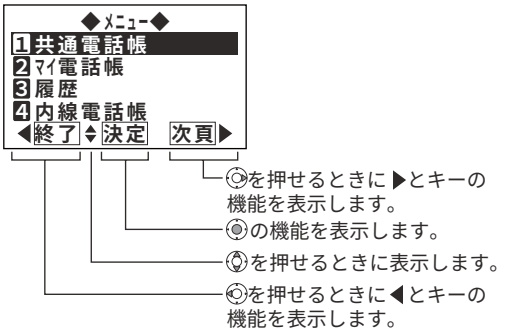
・設定完了が表示される。

```
〈留守切替〉

1 ON

■設定完了!
      終了
```

補足説明

●メニュー機能は、電話機を使用していないときに操作できます。

●画面の説明



●ダイヤルボタンで機能を直接選ぶこともできます。◎＋◎の操作は不要です。
（例：操作2で5を押すと「5各種機能切替」を選択して◎を押すのと同じ動きとなります。）

●一部のメニュー機能（「▶ 指定電話機：…」が記載されている項目）は、指定電話機（モード切替用電話機、またはデータ設定用電話機）のみ操作を行うことができます。
操作できない電話機が該当するメニュー機能を選択した場合は、下記のエラー表示となります。
◎を押すと、前の画面に戻ります。
◎を押すと、メニュー機能を終了します。

```
〈＊＊＊〉
この電話機からは
操作できません。

◀戻る 終了
```

選択した機能を表示します。

●一部のメニュー機能は、複数の電話機で同時に操作することができません。他の電話機が操作中は操作を受け付けませんが故障ではありません。

●下記のいずれかの操作を行うと、メニュー機能から抜けることができます。
- iボタンを押す
- スピーカボタンを2回押す※
- ハンドセットを上げ下げする※

※メッセージの録音・再生操作を行っているときは、無効です。

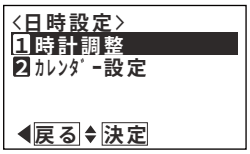
カレンダー、時計の設定

年、月、日、曜日を設定できます。

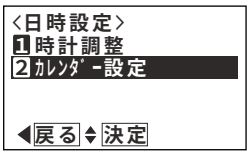
年、月、日、曜日の設定

1 メニューから＜日時設定＞を呼び出す

①◉を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉を押します。
③「3 日時設定」を選択し、◉を押します。



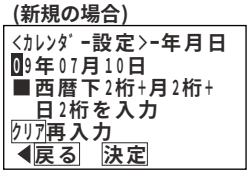
2 ◉で「2 ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定」を選択し、◉を押す



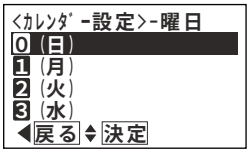
3 西暦、月、日を入力し、◉を押す

・再入力する場合は、フック/クリアボタンを押します。
・ｉボタン＋5を押しても本画面となります。

(新規の場合)

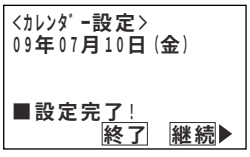


4 ◉で曜日を選択し、◉を押す



5 設定完了画面が表示される

・終了する場合は、◉を押します。
・◉を押すと、操作2に戻ります。

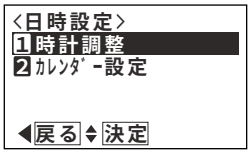


時計の調整

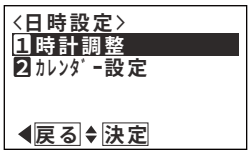
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(611)	−	−

1 メニューから＜日時設定＞を呼び出す

①◉を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉を押します。
③「3 日時設定」を選択し、◉を押します。

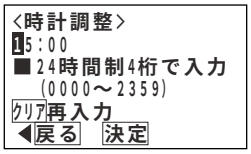


2 ◉で「1 時計調整」を選択し、◉を押す



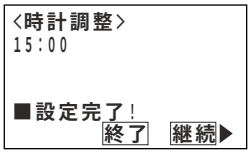
3 時刻を入力し、◉を押す

・再入力する場合は、フック/クリアボタンを押します。
・ｉボタン＋6を押しても本画面となります。



4 設定完了画面が表示される

・終了する場合は、◉を押します。
・◉を押すと、操作2に戻ります。



補足説明

●通常画面では、年の表示は行いません。
●通常画面では、12時間制で表示します。24時間制で表示することもできます。[工事者設定611]

ご注意

●電話機で表示する時計は目安です。時計は、1カ月あたり1～2分程度の誤差が生じる場合があります。必要に応じて、再設定してください。

音量・ディスプレイの設定

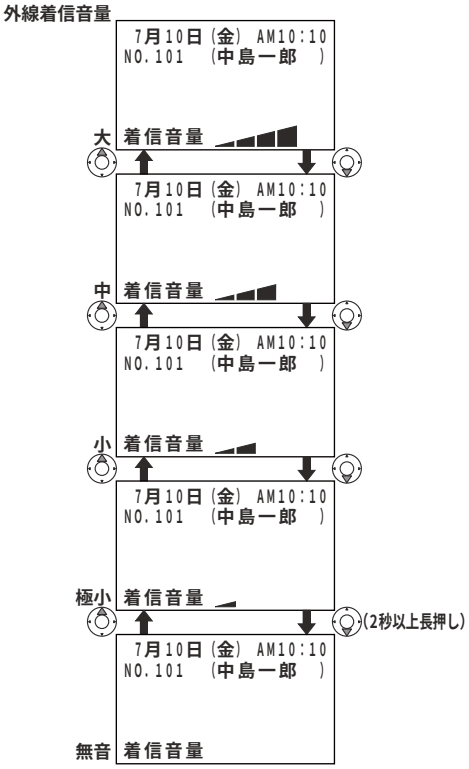
外線着信音量の調整

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(701-3)	−	−

電話機毎に、外線着信音量を5段階で調整することができます。

1 待機時または外線着信時に、ハンドセットを置いたまま◎を押す

- 外線着信中は、着信音量が変わります。
- 着信音量の設定状態がディスプレイに表示されます。

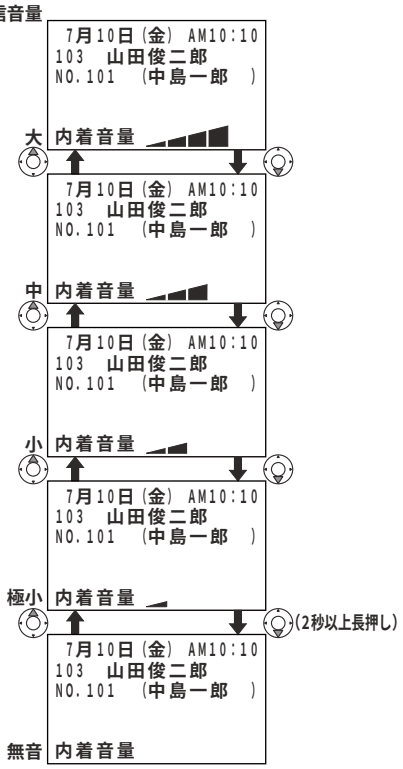


内線着信音量の調整

電話機毎に、内線の着信音量を5段階で調整することができます。

1 内線着信中に、ハンドセットを置いたまま◎を押す

- 着信音量が変わります。
- 内線着信音量の設定状態が、約2秒間ディスプレイに表示されます。



ご注意

●タイムアラーム（P304）を利用する場合は、外線着信音量および内線着信音量を「無音」にしないでください。
外線着信音量が「無音」の場合は、待機時や外線着信時にタイムアラームが鳴らなくなります。
内線着信音量が「無音」の場合は、内線着信時（ダイヤルイン着信時等を含む）にタイムアラームが鳴らなくなります。

●外線着信でも、一台の電話機を直接呼び出すダイレクトインライン（DIL）、ダイヤルイン（DI）、ダイレクトインダイヤル（DID）、発番号ホットラインの着信音や、外線簡易転送、オートマチックリコールの鳴動音は、内線着信音量で調節します。

●音声呼出の音量も内線着信音量で調節します。

知っていると便利なこと

●待機時は、外線着信音量レベルがディスプレイに表示されます。表示しないようにすることもできます。ただし、全ての電話機が表示なしとなります。[工事者設定701-3]

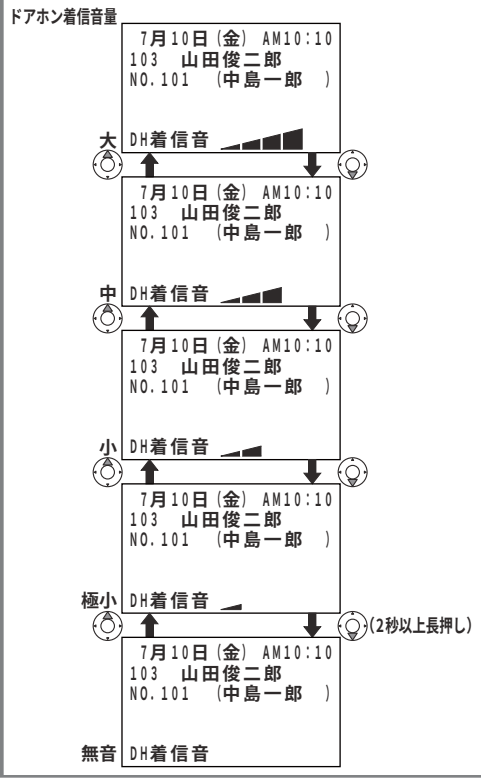
音量・ディスプレイの設定

ドアホン着信音量の調整

電話機毎に、ドアホンの着信音量を5段階で調整することができます。

1 ドアホン着信中に、ハンドセットを置いたまま ◎ を押す

- 着信音量が変わります。
- ドアホン着信音量の設定状態が、約2秒間ディスプレイに表示されます。



スピーカ音量の調整

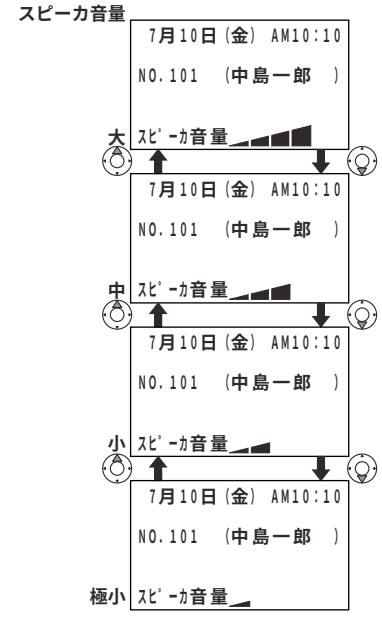
電話機毎に、スピーカ音量を4段階で調整することができます。

1 スピーカ受話中に、ハンドセットを置いたまま スピーカ ボタンを押す

- スピーカ ランプが点灯します。
- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 ◎ を押す

- スピーカからの音量が変わります。
- スピーカ音量の設定状態が、約2秒間ディスプレイに表示されます。



補足説明

●外線着信音量、内線着信音量、ドアホン着信音量はメニュー機能でも調整できます。下記の手順で行ってください。なお、ドアホン着信音の音量確認は、ドアホンを使用していないときや他の電話機でドアホン着信音の音量確認をしていないときのみ可能です。＜プログラム版数3-1版より＞

①◎を押します。

②「**6 電話機毎機能設定**」を選択し、◎を押します。

③「**3 音設定**」を選択し、◎を押します。

④「**4 着信音量設定**」を選択し、◎を押します。→＜着信音量設定＞画面となります。

⑤◎で「**1 外線着信音量設定**」/「**2 内線着信音量設定**」/「**3 ﾄﾞｱﾎﾝ着信音量設定**」から選択し、◎を押します。

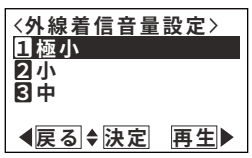
⑥◎で「**1 極小**」/「**2 小**」/「**3 中**」/「**4 大**」/「**0 無音**」から選択します。

※◎を押すと、音量確認ができます。よければ再生中画面で◎を押します。◎を押すとやり直しができます。

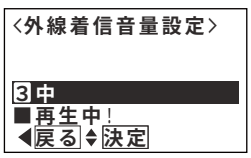
※音量確認が不要な場合は、そのまま◎を押します。

⑦設定完了画面が表示されるので、◎を押して終了します。

外線着信音量設定の例



再生中画面の例



音量・ディスプレイの設定

ハンドセット受話音量の調整

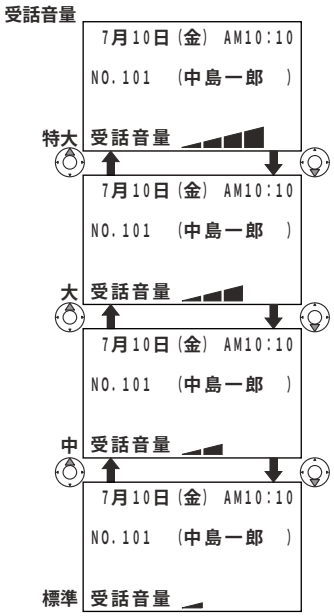
電話機毎に、ハンドセットの受話音量を4段階で調整することができます。

1 ハンドセットをとる

- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 ◎を押す

- ハンドセットからの音量が変わります。
- 受話音量の設定状態が、約2秒間ディスプレイに表示されます。



受話音量を通常より大きくして使う（受話音量アップ）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
－	音量アップ（932）	－

騒音の大きな場所や電話の声が聞き取りにくい場合に、ハンドセットの受話音量を通常の調整範囲より大きくすることができます。
以下の2つのモードを選択することができます。

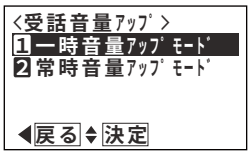
一時音量アップモード（初期設定）	通話中のみ音量アップの切替ができます。ハンドセットを置くと、通常の音量に戻ります。
常時音量アップモード	常に音量アップで使用できます。通話中以外でも音量アップの切替ができます。

※スピーカ受話や着信音を通常調整範囲より大きくすることはできません。

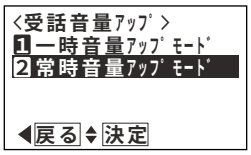
■使用するモードを設定する

1 メニューから＜受話音量ｱｯﾌﾟ＞を呼び出す

①◎を押します。
②「5 各種機能切替」を選択し、◎を押します。
③「8 受話音量調整」を選択し、◎を押します。
④「1 受話音量ｱｯﾌﾟ」を選択し、◎を押します。

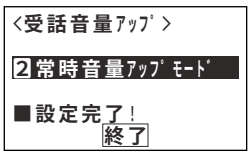


2 ◎で使用するモードを選択し、◎を押す



3 設定完了画面が表示される

- ◎を押すと、終了します。



電話帳を登録する

共通電話帳の登録／変更

相手の方の電話番号、名前、ヨミガナを電話帳に登録することができます。登録できる件数はP88を参照してください。
「共通電話帳」はすべての電話機で共通に利用することができます。また、グループを分けて登録することもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(108,117)	–	–

▶ 指定電話機：共通電話帳編集用電話機

1 メニューから〈共通電話帳管理〉を呼び出す

①◉を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉を押します。
③「1 共通電話帳管理」を選択し、◉を押します。

```
〈共通電話帳管理〉
1 共通電話帳編集
2 短縮ｸﾞﾙｰﾌﾟ名登録
3 外線ｸﾞﾙｰﾌﾟ名登録
4 発信規制短縮ｸﾞﾙｰﾌﾟ
◀戻る ▲▼ 決定
```

2 ◉で「1 共通電話帳編集」を選択し、◉を押す

```
〈共通電話帳管理〉
1 共通電話帳編集
2 短縮ｸﾞﾙｰﾌﾟ名登録
3 外線ｸﾞﾙｰﾌﾟ名登録
4 発信規制短縮ｸﾞﾙｰﾌﾟ
◀戻る ▲▼ 決定
```

3 〈共通電話帳編集〉画面となるので、◉を押す

- 登録されていない短縮番号が表示されます。
- 短縮番号を変更する場合は、短縮番号を入力してください。
- 短縮番号4桁入力状態で◉を押すと、短縮番号を検索することもできます。
- 短縮番号4桁入力状態のとき、先頭から短縮番号を再入力できます。
- すでに電話帳登録されている短縮番号の場合は、登録内容が表示されます。

```
〈共通電話帳編集〉
          残数 9992

0008:
■短縮番号直接入力可
◀戻る ▲▼ 決定
```

4 ◉で「1 登録／変更」を選択し、◉を押す

- 新規で登録する場合や、登録内容の変更を行う場合は、「1 登録/変更」を選択します。

```
〈共通電話帳編集〉
1 登録/変更
2 消去

◀戻る ▲▼ 決定
```

5 編集画面が表示されるので、各項目を編集する

- 以降の操作は各項目を参照してください。
  ⇒P83～85
- 各項目の編集を完了した段階で項目毎に登録が完了します。
- すでに電話帳登録されている場合は、登録内容が表示されます。

```
〈電話帳登録/変更〉
-名前-                  ← 名前入力欄
-ﾖﾐｶﾞﾅ-                 ← ヨミガナ入力欄
0008:-電話番号-          ← 電話番号入力欄
G01(得意先          )   ← 短縮グループ選択欄
◀戻る ▲▼ 編集  完了▶
```

6 すべて登録／変更が完了したら、◉を押す

- ◉を押すと操作4に戻ることができますが、表示されている内容が登録されます。

```
〈電話帳登録／変更〉
佐藤商事
ｻﾄｳｼｮｳｼﾞ
0008:0312345678
G02(社外            )
◀戻る ▲▼ 編集  完了▶
```

7 登録完了画面となる

- 終了する場合は、◉を押します。
- ◉を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。

```
■登録完了!
佐藤商事
ｻﾄｳｼｮｳｼﾞ
0008:0312345678
G02(社外            )
          終了  継続▶
```

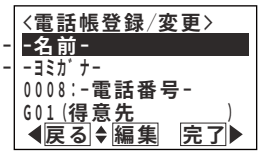
電話帳を登録する

名前を登録する

「共通電話帳の登録／変更」の操作5（P79）や「マイ電話帳の登録／変更」の操作4（P81）で下記の操作を行います。ヨミガナのみを登録／変更することもできます。

1 ◯で名前入力欄を選択し、◯を押す

名前入力欄－
ヨミガナ入力欄－

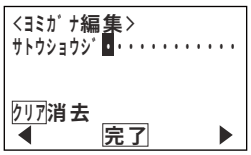


2 ダイヤルボタンで相手名称を入力し、◯を押す

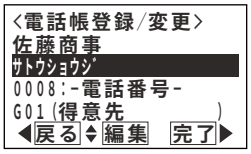
- 名称は全角で10文字まで入力できます。
- ◯を押すと（▮）位置が移動し、文字を入力する位置を指定できます。
- 代理応答/切替ボタンを押すと、「漢字入力」と「カナ入力」が交互に切り替わります。
- フック/クリアボタンを押すと、カーソル位置の文字を消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、末尾の一文字を消去します。
- 詳しい方法は、「文字入力方法」（P89）を参照してください。

3 ヨミガナを入力し、◯を押す

- 名前編集で入力したカナがヨミガナとして表示されます。
- 表示されているヨミガナを訂正する場合は、◯を押してカーソル（▮）を訂正したい位置に移動し、消去または入力を行ってください。
- 入力した文字はカーソル前に挿入されます。
- フック/クリアボタンを押すと、カーソル位置の文字を消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、末尾の一文字を消去します。
- ヨミガナは半角20文字まで入力できます。



4 登録された内容が表示される



補足説明

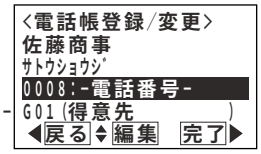
- ●名前は全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号以外に、半角のカタカナ、英数字、記号も入力できます。
- ●フック/クリアボタンを長押し（2秒以上）すると、カーソルのある文字以降（カーソル位置を含む）を一括消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、すべての文字を一括消去します。

電話帳を登録する

電話番号を登録する

「共通電話帳の登録／変更」の操作5（P79）や「マイ電話帳の登録／変更」の操作4（P81）で下記の操作を行います。

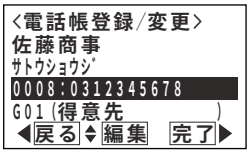
1 ◎で電話番号入力欄を選択し、●を押す



2 電話番号（最大24桁）を入力し、●を押す

- 一般の電話は市外局番から、入力してください。
- 入力した文字はカーソル前に挿入されます。
- フック/クリアボタンを押すと、カーソル位置の文字を消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、末尾の一文字を消去します。

3 登録された内容が表示される



補足説明

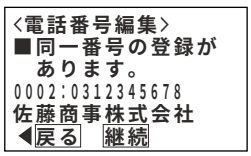
●フック/クリアボタンを長押し（2秒以上）すると、カーソルのある文字以降（カーソル位置を含む）を一括消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、すべての文字を一括消去します。

ご注意

●操作2のあと、下記の表示が出たときは同じ電話番号がすでに設定されています。

◎を押すと操作2に戻り、電話番号を修正することができます。

●を押すと同じ電話番号で登録します。ただし、着信時に表示する名称（ナンバー・ディスプレイ利用時）は短縮番号の若番に登録した内容となります。



知っていると便利なこと

●操作2で、自分と同じ市外局番を省略して電話番号を登録した場合でも、ナンバーディスプレイ時に共通電話帳に登録した名称を表示できます。[工事者設定229-1]

電話帳を登録する

短縮グループを選択する

「共通電話帳の登録／変更」の操作5（P79）で下記の操作を行います。「マイ電話帳」はグループ選択はできません。

1 ◎で短縮グループ選択欄を選択し、◎を押す

短縮グループ選択欄

2 ◎で登録する短縮グループを選択し、◎を押す

- 短縮グループ01（G01）～短縮グループ15（G15）を選択できます。
- 「:」のあとはグループ名を表示します。グループ名は全角にて7文字まで登録できます。⇒P86

3 登録された内容が表示される

知っていると便利なこと

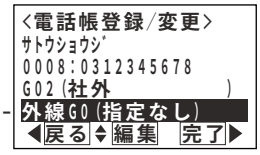
- ●電話機グループ毎に共通電話帳管理番号を決めて、部署やテナント毎に使用する共通電話帳を分けて使う場合は（P88）、短縮グループは共通電話帳管理番号毎に15グループとなります。＜プログラム版数2-1版より＞
- ●特定電話番号発信規制（P337-1）を利用している場合は、発信規制を行う短縮グループは短縮グループ名の代わりに「**発信規制**」が表示されます。本短縮グループを選択した電話番号は発信することができなくなります。＜プログラム版数4-1版より＞

外線自動発信グループを選択する

共通電話帳で外線自動発信グループを設定しておくと、相手によって使用する回線を自動選択することができます。例えば、携帯電話アダプタをご利用している場合、相手の方が携帯電話であれば携帯電話アダプタを接続した回線を自動選択できるようになります。
「共通電話帳の登録／変更」の操作5（P79）で下記の操作を行います。「マイ電話帳」は外線のグループの選択はできません。

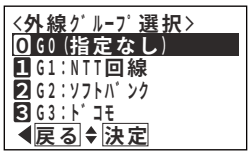
1 ◎で外線自動発信グループを選択し、◎を押す

外線自動発信グループ選択欄

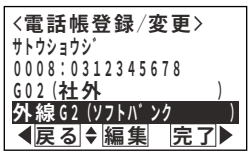


2 ◎で登録するグループを選択し、◎を押す

- 指定なし（G0）、グループ1（G1）～グループ6(G6)を選択できます。
- 「:」のあとはグループ名を表示します。グループ名は全角にて6文字まで登録できます。⇒P87



3 登録された内容が表示される



補足説明

- ●選択するグループによっては外線自動発信できなくなる場合がありますので、使用できるグループに関しては販売店にお問い合わせください。
- ●発信の方法は、「電話番号によって使用する回線を自動選択する（特定番号迂回発信）」を参照してください。⇒P151
- ●外線グループを「G0（指定なし）」とした場合は、電話番号によって回線が自動選択されます。電話番号による回線の自動選択は設定が必要です。［工事者設定142］

ワンタッチで電話をかける（ワンタッチダイヤル）

ワンタッチダイヤルボタンを登録する（短縮番号指定）

空いている 外線 ボタンに ワンタッチダイヤル ボタンを登録することにより、ワンタッチで相手の方へ電話をかけることができます。短縮番号があらかじめわかっているときは、この方法で登録します。

1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

①◉を押します。
②「6 電話機毎機能設定」を選択し、◉を押します。
③「2 ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、◉を押します。
・ i ボタン＋ ✳ ✳ を押しても本画面となります。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
･･KEY:
■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  (押替可能)
◀戻る
```

2 登録するボタン（使っていない 外線 ボタン）を押し、◉を押す

・現在登録されている機能名称が表示されます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:00
        機能なし
■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  (押替可能)
◀戻る  決定
```

3 ◉で「2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、◉を押す

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録
2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録
3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録
4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録
◀戻る ▲▼ 決定
```

4 短縮番号を入力し、◉を押す

・短縮番号入力が完了すると、3行目に電話番号または名称（共通電話帳またはマイ電話帳に登録時）が表示されます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:短縮･･･
■短縮番号入力
クリア 再入力
電話帳 電話帳検索
◀戻る  決定
```

■短縮番号入力後

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:短縮0002
井上物産
クリア 再入力
電話帳 電話帳検索
◀戻る  決定
```

5 登録完了画面が表示される

・終了する場合は、◉を押します。
・◉を押すと（省略可能）操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:短縮0002
井上物産
■登録完了!
        終了  継続▶
```

ご注意

●登録するワンタッチダイヤルと同じ数の空きボタンが必要です。
●機能を設定したボタンにワンタッチダイヤルを登録すると、元の機能では使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P288
●プログラム版数2-1版より、短縮ダイヤル発信時に押す短縮番号の桁数を電話機毎に1～3桁に変更することもできますが（P93）、ワンタッチダイヤルボタンは4桁の短縮番号を登録します。

補足説明

●使用できる短縮番号はシステムで10000件（短縮番号0000～9999）まで利用できます。
短縮番号0000～9999は各電話機グループ用の共通電話帳や各電話機のマイ電話帳で相互融通となります。
なお、マイ電話帳は電話機毎に30件まで使用できます。

知っていると便利なこと

●操作2で◉を押す代わりに 短縮/電話帳 ボタンを押すと、操作4から操作できます。

ワンタッチで電話をかける（ワンタッチダイヤル）

ワンタッチダイヤルボタンを登録する（電話帳検索）

空いている 外線 ボタンに ワンタッチダイヤル ボタンを登録することにより、ワンタッチで相手の方へ電話をかけることができます。短縮番号がわからなくても、電話帳で検索することができます。

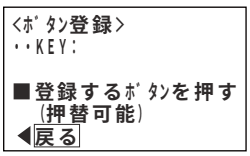
1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

①(◉)を押します。

②「6 電話機毎機能設定」を選択し、(◉)を押します。

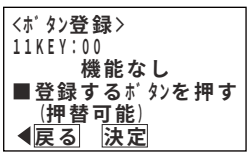
③「2 ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、(◉)を押します。

- i ボタン＋ ✳ ✳ を押しても本画面となります。

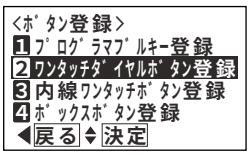


2 登録するボタン（使っていない 外線 ボタン）を押し、(◉)を押す

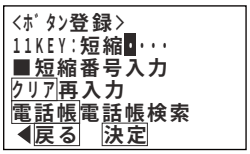
- 現在登録されている機能名称が表示されます。



3 (◉)で「2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、(◉)を押す

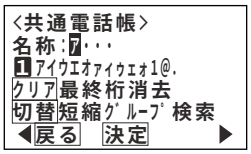


4 短縮/電話帳 ボタンを押す



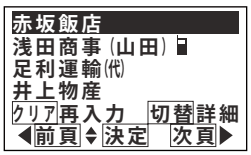
5 ダイヤルキーでカナ名称の頭文字（濁点を含めて最大4文字）を入力し、(◉)を押す

- フック/クリア ボタンを押すと末尾の一文字が消去されます。
- 代理応答/切替 ボタンを押すと、短縮グループ検索や短縮番号検索に切り替えることもできます。詳しくは「電話帳を使って電話をかける」（P96、P97）を参照してください。
- 「マイ電話帳」を検索するときは、何も入力しないで(◉)を押します。



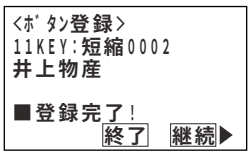
6 (◉)で登録する相手を選択し、(◉)を押す

- 入力した文字に該当する名称の一覧が表示されます。
- 代理応答/切替 ボタンを押すと詳細表示になります。



7 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、(◉)を押します。
- (◉)を押すと（省略可能）操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



ご注意

- ●登録するワンタッチダイヤルと同じ数の空きボタンが必要です。
- ●機能を設定したボタンにワンタッチダイヤルを登録すると、元の機能では使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P288

自分がかけた相手の方にかけ直す（リダイヤル／サーチリダイヤル）

発信履歴から検索して電話をかける

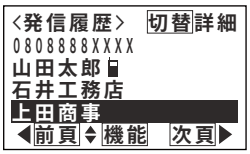
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(103,113)	−	−

1 ハンドセットを置いたまま ◎ を押す

- 発信履歴画面が表示されます。
- 上から最新の情報が表示されます。
- 現在選択中のものは反転表示します。
- メニューから本画面を表示させることもできます（「3 履歴」→「1 発信履歴」）。

2 ◎ を押し、かけたい相手を選ぶ

- ◎ を押すと新しい履歴、◎ を押すと古い履歴が検索されます。
- ◎ を押すと、前後の4件を表示します。
- 代理応答/切替 ボタンを押すと検索相手の詳細表示に切り替わります。以降 代理応答/切替 ボタンを押すたびに、一覧表示（4件表示）と詳細表示（1件表示）が切り替わります。

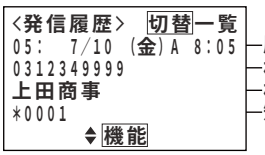


3 空いている 外線 ボタンを押す

- 選択された履歴の電話番号がダイヤルされます。

補足説明

●表示できる発信履歴は30件までです。
●発信履歴に登録されている電話番号は最大24桁です。
●詳細表示画面の説明：



履歴番号、発信日時（＊1）
相手番号
相手名称（＊2）
短縮番号（＊2）

＊1：午前は「A」、午後は「P」
＊2：共通電話帳に登録してあると表示します。

●操作2で ◎ を押すと、＜機能選択＞画面が表示されます。**「1 発信」**が選択されているので、そのまま ◎ を押すと外線を自動的に選んで発信することができます。＜プログラム版数4-1版より＞

ご注意

●共通電話帳にヨミガナが登録されていない場合は、一覧表示したとき「＊」が表示されます。電話帳を修正してください。⇒P79
●チェーンダイヤル（P206）およびワンタッチチェーンダイヤル（P88）でかけたときは、発信履歴に登録されません。

知っていると便利なこと

●発信履歴から発信した場合、選択した履歴は消去され最新の履歴として再登録されます。
●短縮ダイヤル（P93）やワンタッチダイヤル（P54）などでかけたときも、発信履歴に登録されます。
●操作3で 外線 ボタンを押す代わりに、ハンドセットをとるか スピーカ ボタンを押すと、使用できる 外線 ボタンを自動的に選んで電話をかけることもできます。[工事者設定113]
●操作1で最初に表示される画面を一覧表示でなく詳細表示とすることもできます。⇒P47
この場合も、 代理応答/切替 ボタンで一覧表示（4件表示）と詳細表示（1件表示）を切り替えることができます。

発信履歴の電話番号を電話帳に登録する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(113)	−	−

■共通電話帳に登録するとき

発信履歴を検索中に下記操作を行います。

▶ 指定電話機：共通電話帳編集用電話機

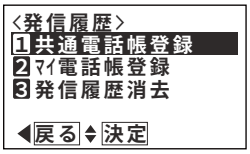
1 ◎を押し、登録したい相手を選び、●を押す

2 ◎で「2 各種機能」を選択し、●を押す

・プログラム版数4-1版より本画面が表示されます。

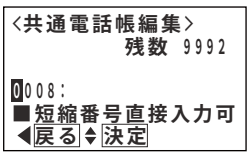
3 ◎で「1 共通電話帳登録」を選択し、●を押す

・共通電話帳編集用電話機からのみ選択可能です。



4 〈共通電話帳編集〉画面となるので、●を押す

・短縮番号を変更して登録する場合は、●を押す前に短縮番号を入力してください。
・以降の操作は、「電話帳を登録する」を参照してください。⇒P79
・発信履歴画面には戻れません。



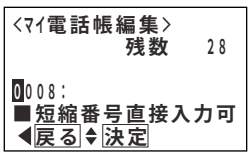
■マイ電話帳に登録するとき

「■共通電話帳に登録するとき」と同様に操作2まで行ったあとに、下記操作を行います。

3 ◎で「2 ﾏｲ電話帳登録」を選択し、●を押す

4 〈ﾏｲ電話帳編集〉画面となるので、●を押す

・短縮番号を変更して登録する場合は、●を押す前に短縮番号を入力してください。
・以降の操作は、「電話帳を登録する」を参照してください。⇒P81
・発信履歴画面には戻れません。



ご注意

●操作4で「残数 0」が表示されたときは、電話帳に空きがありません。
登録したいときは、不要なものを消去してください。⇒P100

電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴）

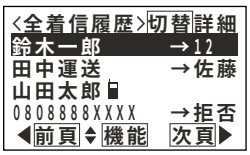
着信履歴から電話をかける

ISDN回線をご利用の場合や、ナンバー・ディスプレイ機能をご利用の場合、電話をかけてきた方の番号や名称を履歴として確認できます。また、選んだ履歴の番号に電話をかけ直すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(229-5)	−	−

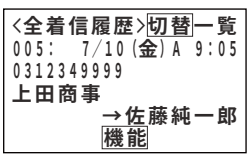
1 ハンドセットを置いたまま ◎ を押す

- 着信履歴画面が表示されます。
- 上から最新の情報が表示されます。
- 現在選択中のものは反転表示します。
- メニューから本画面を表示させることもできます（「3 履歴」→「2 着信履歴」）。



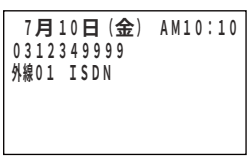
2 ◎ を押し、かけたい相手を選ぶ

- ◎ を押すと新しい履歴、◎ を押すと古い履歴が検索されます。
- ◎ を押すと前後の4件を表示します。
- 代理応答/切替 ボタンを押すと検索相手の詳細表示に切り替わります。以降 代理応答/切替 ボタンを押すたびに、一覧表示（4件表示）と詳細表示（1件表示）が切り替わります。



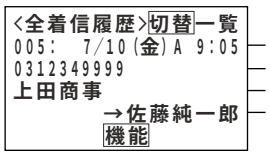
3 空いている 外線 ボタンを押す

- 選択された履歴の電話番号がダイヤルされます。



補足説明

●詳細表示画面の説明：



- 履歴番号、着信日時（＊1）
- 相手番号（＊2）
- 相手名称（＊3）
- 通話した電話機の内線名称または内線番号（＊4）

＊1：午前は「A」、午後は「P」
＊2：ネーム・ディスプレイの相手名称を表示しているときは、一番右に「ND」を表示します。
＊3：ネーム・ディスプレイで相手名称が通知されたとき、または共通電話帳に登録してあると表示します。
＊4：「グループ内全着信履歴」または「システム全着信履歴」のときに表示します。

●操作1で ◎ を長押しすると、内線着信履歴が表示されます。<プログラム版数4-1版より>⇒P69-1

●操作2で ◎ を押すと、<機能選択>画面が表示されます。「1 発信」が選択されているので、そのまま ◎ を押すと外線を自動的に選んで発信することができます。<プログラム版数4-1版より>

ご注意

●履歴を表示している状態で約20秒間操作しないと、待機状態に戻ります。
●「マイ着信履歴」以外を表示中に新しい履歴が登録されると、同じ履歴が2回表示される場合があります。

知っていると便利なこと

●着信を拒否した番号（P176参照）からかかってきた場合も、着信履歴に残ります。拒否した着信は、「→拒否」（「システム全着信履歴」、「グループ内全着信履歴」、「グループ内不応答履歴」のみ表示）が表示されます。
●不応答履歴から折返し発信を行い、相手が応答すると「発信済」が表示されます。
●操作3で 外線 ボタンを押す代わりに、ハンドセットをとるか スピーカ ボタンを押すと、使用できる 外線 ボタンを自動的に選んで電話をかけることもできます。[工事者設定229-5]
●操作1で最初に表示される着信履歴の内容を変えたり、一覧表示でなく詳細表示とすることもできます。⇒P61
この場合も、 代理応答/切替 ボタンで一覧表示（4件表示）と詳細表示（1件表示）を切り替えることができます。
●「マイ着信履歴」の公開範囲を電話機毎に設定できます。[工事者設定229-5]

電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴）

着信履歴の電話番号を電話帳に登録する

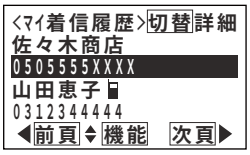
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
（229-5）	−	−

■共通電話帳に登録するとき

着信履歴を検索中に下記操作を行います。

▶ 指定電話機：共通電話帳編集用電話機

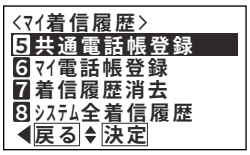
1 ◎を押し登録したい相手を選び、●を押す



2 ◎で「2 各種機能」を選択し、●を押す

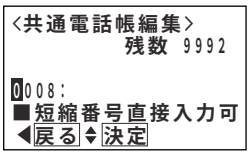
- プログラム版数4-1版より本画面が表示されます。

3 ◎で「5 共通電話帳登録」を選択し、●を押す



4 〈共通電話帳編集〉画面となるので、●を押す

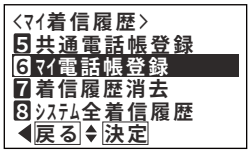
- 短縮番号を変更して登録する場合は、●を押す前に短縮番号を入力してください。
- 以降の操作は、「電話帳を登録する」を参照してください。⇒P79
- 着信履歴画面には戻れません。



■マイ電話帳に登録するとき

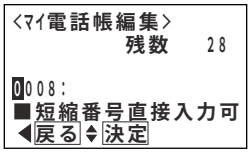
「■共通電話帳に登録するとき」と同様に操作2まで行ったあとに、下記操作を行います。

3 ◎で「6 ﾏｲ電話帳登録」を選択して、●を押す



4 〈ﾏｲ電話帳編集〉画面となるので、●を押す

- 短縮番号を変更して登録する場合は、●を押す前に短縮番号を入力してください。
- 以降の操作は、「電話帳を登録する」を参照してください。⇒P81
- 着信履歴画面には戻れません。



ご注意

●操作4で「残数0」が表示されたときは、電話帳に空きがありません。登録したいときは、不要なものを消去してください。⇒P100

知っていると便利なこと

●ネーム・ディスプレイ（P188）を利用している場合は、回線から通知された名称も電話機に登録できます。

ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能

特定の番号からの電話は着信を拒否する(発番号識別着信拒否)

あらかじめセットした電話番号から電話がかかってきた場合に、話中音（ツーツー…）や音声メッセージ登録を聞かせることができます。迷惑電話などを拒否する場合に便利です。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-6	–	ET-「」CIU-iE/「」M L（アナログ回線の場合）

■拒否する電話番号を直接登録する

1 メニューから〈着信拒否番号〉を呼び出す

①◉を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉を押します。
③「9 発信者識別機能」を選択し、◉を押します。
④「1 着信拒否番号」を選択し、◉を押します。

<着信拒否番号> 0005
■項番直接入力可
◀戻る ▲▼決定

2 未登録の項番を表示するので、◉を押す

・登録済みの電話番号を変更するときは、項番を直接入力するか◉で項番を選択してください。登録済みの項番は電話番号や名前（共通電話帳に登録時）が表示されます。

<着信拒否番号> 0005
■項番直接入力可
◀戻る ▲▼決定

3 ◉で「1 番号直接入力」を選択し、◉を押す

<着信拒否番号> 0005
1 番号直接入力
2 着信履歴検索
3 消去
4 電話番号指定消去
◀戻る ▲▼決定

4 拒否する電話番号を入力し、◉を押す

・電話番号は市外局番から入力してください。

<着信拒否番号> 0005
0905555XXXX・・・・
■電話番号入力
クリア消去
◀ 決定

5 登録完了画面が表示される

・終了する場合は、◉を押します。
・◉を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

<着信拒否番号> 0005
0905555XXXX
■登録完了!
終了 継続▶

■着信履歴から検索して拒否する電話番号を登録する

1 メニューから〈着信拒否番号〉を呼び出す

①◉を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉を押します。
③「9 発信者識別機能」を選択し、◉を押します。
④「1 着信拒否番号」を選択し、◉を押します。

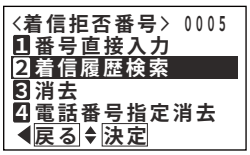
<着信拒否番号> 0005
■項番直接入力可
◀戻る ▲▼決定

2 未登録の項番を表示するので、◉を押す

・登録済みの電話番号を変更するときは、項番を直接入力するか◉で項番を選択してください。登録済みの項番は電話番号や名前（共通電話帳に登録時）が表示されます。

<着信拒否番号> 0005
■項番直接入力可
◀戻る ▲▼決定

3 ◎で「2着信履歴検索」を選択し、◎を押す

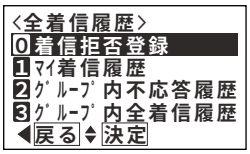


4 ◎で拒否する相手を検索し、◎を押す

- 画面は「全着信履歴」の表示をありにした場合です。表示なしの場合は、〈ﾏｲ着信履歴〉が表示されます。
- 代理応答/切替 ボタンを押すたびに、詳細表示（1件表示）と一覧表示（4件表示）が切り替わります。

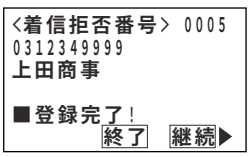
5 ◎で「0着信拒否登録」を選択し、◎を押す

- 本画面で検索する着信履歴の種類（1ﾏｲ着信履歴、2ｸﾞﾙｰﾌﾟ内不応答履歴、3ｸﾞﾙｰﾌﾟ内全着信履歴、4他TEL着信履歴、8ｼｽﾃﾑ全着信履歴）を選択することもできます。



6 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、◎を押します。
- ◎を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。



補足説明

- 登録できる電話番号は最大16桁、最大2000件です。
- すべての項番が登録済みの場合は、操作2で項番0001を表示します。

ご注意

- 本機能はシステム一括の設定ですので、セットした電話番号はすべての外線で拒否します。

知っていると便利なこと

- 着信拒否をセットした電話番号から電話がかかってきた場合も、全着信履歴、不応答履歴に残ります。拒否した着信は“ →拒否 ”が表示されます。

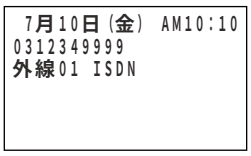
■通話中の相手を拒否登録する

通話中の相手の電話番号を、着信拒否する電話番号として登録することができます。指定電話機以外からも操作できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-6	拒否登録（938）	ET-「」CIU-iE/「」M L（アナログ回線の場合）

1 外線通話中に 拒否登録 ボタンを押す

- 登録できると 拒否登録 ランプ（赤）が点灯します。



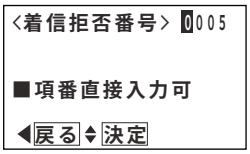
補足説明

- 電話番号が表示されていないときは、登録できません。拒否登録 ランプは点灯しません。
- 電話を受けたときだけでなく、電話をかけたときも登録することができます。
- 登録件数に空きがないときは、登録できません。拒否登録 ランプは点灯しません。

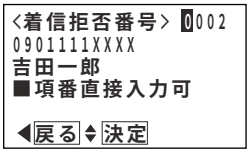
■拒否する電話番号を解除する（項番選択）

1 メニューから〈着信拒否番号〉を呼び出す

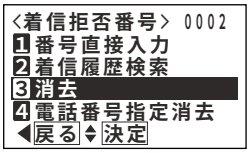
①(●)を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、(●)を押します。
③「9 発信者識別機能」を選択し、(●)を押します。
④「1 着信拒否番号」を選択し、(●)を押します。



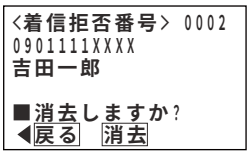
2 (▲▼)で解除したい項番を選択し、(●)を押す



3 (▲▼)で「3 消去」を選択し、(●)を押す

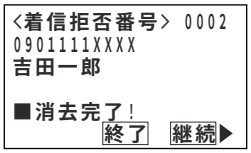


4 消去確認画面が表示されるので、(●)を押す



5 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、(●)を押します。
- (▲▼)を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。



補足説明

●解除した場合、解除した項番は空きになり、新規登録が可能となります。

■拒否する電話番号を解除する（電話番号選択）

1 メニューから〈着信拒否番号〉を呼び出す

①◉を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉を押します。
③「9 発信者識別機能」を選択し、◉を押します。
④「1 着信拒否番号」を選択し、◉を押します。

```
〈着信拒否番号〉 0005

■項番直接入力可
◀戻る ▲▼ 決定
```

2 〈着信拒否番号〉画面が表示されるので、◉を押す

```
〈着信拒否番号〉 0005

■項番直接入力可
◀戻る ▲▼ 決定
```

3 ◉で「4 電話番号指定消去」を選択し、◉を押す

```
〈着信拒否番号〉 0005
1 番号直接入力
2 着信履歴検索
3 消去
4 電話番号指定消去
◀戻る ▲▼ 決定
```

4 電話番号を入力し◉を押す

- 入力できる電話番号は最大16桁です。
- ◉でカーソル位置を左右に移動できます。
- フック/クリアボタンを押し、電話番号をすべて消去し、◉を押すと操作3に戻ることができます。

```
〈着信拒否番号〉 消去
▪
■消去する電話番号を入力
クリア入力番号消去
◀戻る
```

5 消去確認画面が表示されるので、◉を押す

```
〈着信拒否番号〉 0002
0901111XXXX
吉田一郎

■消去しますか?
◀戻る 消去
```

6 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、◉を押します。
- ◉を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

```
〈着信拒否番号〉 0002
0901111XXXX
吉田一郎

■消去完了!
終了 継続▶
```

補足説明

●解除した場合、解除した項番は空きになり、新規登録が可能となります。
●操作5で、入力した電話番号に該当する項番がない場合はエラー画面が表示されますので、◉を押して操作4に戻ってください。

```
〈着信拒否番号〉 消去
0901111XXXX

■この電話番号は登録されていません!
◀戻る 終了
```

ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能

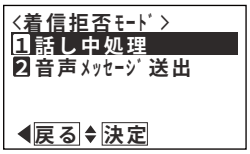
■拒否方法を選択する

着信を拒否するとき、話し中にするか音声メッセージを流すかを選択できます。

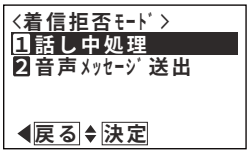
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-6	−	−

1 メニューから〈着信拒否ﾓｰﾄﾞ〉を呼び出す

①◉を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉を押します。
③「9 発信者識別機能」を選択し、◉を押します。
④「2 着信拒否ﾓｰﾄﾞ」を選択し、◉を押します。

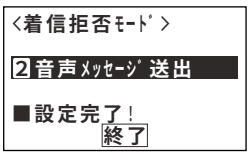


2 ◈でモードを選択し、◉を押す



3 設定完了画面が表示される

・◉を押すと終了します。



補足説明

●固定メッセージ「ただ今不在です。電話にでることができません。」のほか、録音したメッセージ（P307）を使用することもできます。［工事者設定229-6］
●メッセージを流す時間は非通知着信拒否と共通で約16秒です。8秒、32秒、または64秒に変更することもできます。［工事者設定229-6］
●拒否方法は工事者設定で選択することもできます。［工事者設定229-6］

番号を通知しない電話を拒否する（非通知着信拒否）

電話番号を通知しない（非通知）で電話をかけてきた場合に「恐れ入りますが、番号を通知しておかけ直しください。」等のメッセージや話中音（ツーツー…）を聞かせることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-7	非通知拒否（935）	ET-「」CIU-iE/「」M L（アナログ回線の場合）

▶ **指定電話機：モード切替用電話機**

■非通知拒否 ボタンでセット／解除する

1 非通知拒否 ボタンを押す

・セットした場合は非通知拒否ランプが点灯します。
・解除した場合は非通知拒否ランプが消灯します。

■メニュー機能でセット／解除する

1 メニューから〈非通知着信拒否〉を呼び出す

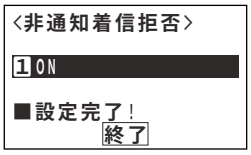
①◉を押します。
②「5 各種機能設定」を選択し、◉を押します。
③「4 非通知着信拒否」を選択し、◉を押します。

2 ◈で非通知着信拒否のON/OFFを選択し、◉を押す

・現在の設定が反転表示します。

3 設定完了画面が表示される

・◉を押すと終了します。



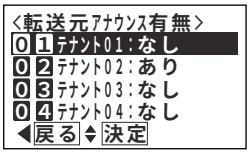
転送電話モードを利用する

■転送元アナウンスを利用する外線を設定する

「転送元アナウンス機能」を利用する外線を設定します。設定はテナント単位で行います。設定したテナントの外線またはDILIN番号に電話がかかってきたとき、本機能を利用できます。

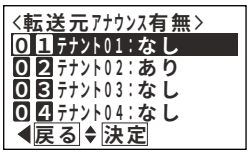
1 メニューから〈転送元ｱﾅｳﾝｽ有無〉を呼び出す

①(◉)を押します。
②「**7** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、(◉)を押します。
③「**0** その他」を選択し、(◉)を押します。
④「**4** 転送元ｱﾅｳﾝｽ有無」を選択し、(◉)を押します。

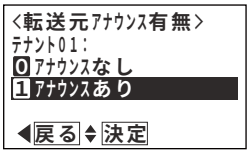


2 (◇)でテナントを選択し、(◉)を押す

・現在の設定内容が表示されます。

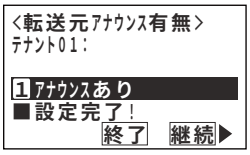


3 (◇)で選択し、(◉)を押す



4 設定完了画面が表示される

・終了する場合は、(◉)を押します。
・(◇)を押すと操作2に戻り、設定を繰り返すことができます。



■転送先で電話を受けるとき

1 転送先の電話機が着信する

2 電話に出ると、「○○さんから電話です。転送します。」等の音声メッセージが2回流れる。

3 メッセージが終わると相手の方と通話できる

留守録モードを利用する

留守録を使うとき

例として、留守切替操作で「留守録モード」を設定する方法を示します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401-2	下記＊参照	−

＊留守切替（981）または夜間切替00（900）～夜間切替07（907）S／夜間切替15（915）ML のいずれか、および留守録（947）、メッセージ1（701）～メッセージ6（706）、メッセージ切替（707）、留守録モニタ（966）で必要なもの

■プログラマブルキーで留守録をセットする

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 留守切替 ボタンを押す

- 留守切替 ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
NO.101  (中島一郎  )
転送電話ｵﾝ
転送先①中島一郎
着信音量
```

2 留守録 ボタン、メッセージ( ) ボタンの順に押す

- メッセージ( ) ボタンは応答メッセージを切り替えたいときに押します。
- 留守録 ランプが点灯します。
- 選択した メッセージ( ) ランプが点灯します。
- メッセージ1～メッセージ3は固定メッセージ、メッセージ4～メッセージ6は録音した応答メッセージ(P115)です。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
NO.101  (中島一郎  )
留守録ｵﾝ      ﾒｯｾｰｼﾞ1
録音件数 000件
残時間   ■■■■■
着信音量
```

- “ ■■■■■ ”は録音残時間の目安です。
  “ ■ ”1個あたり約20％です。
  残時間がないと“ OVER ”と表示されます。

補足説明

●操作2で、メッセージ( ) ボタンの代わりに メッセージ切替 ボタンを押して、メッセージ番号を順次切り替えることができます。例えば、現在の設定がメッセージ1の場合、メッセージ切替 ボタンを押す毎にメッセージ2→メッセージ3→･･･メッセージ6→メッセージ1の順に切り替わります。この場合、メッセージ( ) ボタンが設定されていると、該当するメッセージ( ) ランプも点灯します。＜プログラム版数2-1版より＞

■メニュー機能で留守録モードに切り替える

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉を呼び出す

①◉を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉を押します。
③「6 留守番機能」を選択し、◉を押します。
④「1 留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、◉を押します。

```
〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉
01転送電話
02追っかけ転送
03ﾂｲﾝ転送
04不応答後転送
◀戻る ▲▼決定
```

2 ◉で「07留守録」を選択し、◉を押す

```
〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉
04不応答後転送
05不応答後ｵｯｶｹ転送
06不応答後ﾂｲﾝ転送
07留守録
◀戻る ▲▼決定
```

3 メッセージ番号（1～6）を入力し、◉を押す

- メッセージ番号1～3は固定メッセージ、メッセージ番号4～6は録音した応答メッセージ（P115）です。
- ◉を押す前は、メッセージ番号の入力をやり直すことができます。

```
〈留守録〉
ﾒｯｾｰｼﾞ番号:2

■ﾒｯｾｰｼﾞ番号1～6入力
◀戻る  決定
```

4 登録完了画面が表示される

- ◉を押すと終了します。

```
〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉
留守録        ﾒｯｾｰｼﾞ2

■登録完了!
      終了
```

留守録モードを利用する

録音された用件を聞く

新規の用件が録音されていると、再生( )ボタンが点滅、着信／メッセージランプが点灯します。再生( )ボタンを押すことにより、録音された用件を聞くことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(664-3)	再生1 (861) ~再生7 (867) S	–
	再生1 (861) ~再生15 (875) M L	
	再生速度 (876)、戻り (877)、送り (878)、消去 (879)、停止 (880)	

■プログラマブルキーで用件を再生する

1 ハンドセットを置いたまま 再生( ) ボタンを押す（スピーカ ランプも消えていること）

- 音声案内「○○件のメッセージがあります。」が流れ、古い録音内容から再生されます。
- 録音内容の最後に、タイムスタンプ「○曜日、午前（午後）△△時□□分です。」が再生されます。
- 再生中の用件が録音された日時と相手の方の電話番号または名前（共通電話帳に登録時またはネーム・ディスプレイで相手名称が通知されたとき）が表示されます。
  トータル件数は、各留守録ボックスに録音されている件数を表示します。（トータル5件の例）

```
<留守録再生> 001/005
 7月13日(月) AM 8:10   ―録音日時
中村太郎               ―電話番号または名前
1再生 2戻り 3送り
4消去 5停止 6標準      ―操作ガイダンス
7 1.3倍速 8 2倍速
```

2 用件の再生中、希望によりサービスボタンを押す

下記のサービスボタンが使用できます。

- 再生ボタン…再生中の録音内容を最初から再生する。
- 再生速度ボタン…標準速度で再生する→1.3倍速で再生する→2倍速で再生するを押下毎に繰り返す。
- 戻りボタン…1つ前の録音内容を最初から再生する。
- 送りボタン…次の録音内容を最初から再生する。
- 消去ボタン…録音内容を消去する。（音声案内「消去しました。」が流れます。）
- 停止ボタン…用件の再生を停止する。（音声案内「再生を終了しました。」が流れます。）

※全ての用件を再生後は再生速度ボタン、戻りボタン、停止ボタンのみ操作可能です。

■メニュー機能から用件を再生する

1 メニューから〈留守録再生〉を呼び出す

①◉を押します。
②「8 用件ﾒｯｾｰｼﾞ再生」を選択し、◉を押します。
③「1 留守録再生」を選択し、◉を押します。

```
<留守録再生>
01留守録BOX01
02留守録BOX02
03留守録BOX03
04留守録BOX04
◀戻る ▲▼決定
```

2 ◉で再生する留守録ボックスを選択し、◉を押す

```
<留守録再生>
01留守録BOX01
02留守録BOX02
03留守録BOX03
04留守録BOX04
◀戻る ▲▼決定
```

3 再生画面となる

- 以降は、プログラマブルキーで用件を再生すると同様の操作です。

```
<留守録再生> 001/005
 7月13日(月) AM 8:10
中村太郎
1再生 2戻り 3送り
4消去 5停止 6標準
7 1.3倍速 8 2倍速
```

■用件を録音した方に電話する

1 用件再生中に、空いている 外線 ボタンを押す

- 用件再生時にディスプレイに表示されていた相手の方に自動的に発信します。

2 相手の方が応答したら、ハンドセットをとる

- 相手の方と通話できます。

ご注意

●ディスプレイに電話番号または名前が表示されていないときは、自動発信できません。

留守録モードを利用する

夜間や休日にかかってきた電話に対し、相手の方の用件を録音することができます。

応答メッセージを録音する

留守録モードで留守録ボックスが応答するときに流す応答メッセージ（例えば「本日の業務は終了しました。ご用件をピーという音の後にお話しください。」）はあらかじめ用意されていますが、自分の声で録音した応答メッセージを流すことができます。応答メッセージは約60秒録音することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
664-6	—	—

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■特番を押して録音するとき

1 ハンドセットをとる

- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 応答メッセージ録音・確認特番 6 1 を押す

- 保留音が聞こえます。
- 6 1 は留守録1CHのメッセージ1の場合です。他のメッセージの特番については、「補足説明」（P117）を参照してください。

3 1 を押す

- 保留音が止まったら録音開始になりますので、ハンドセットに向かって話します。（最大60秒）
- 録音時間が終了すると、話中音（ツーツーツー）が聞こえます。

■メニュー機能で録音するとき

1 メニューから〈留守録用ﾒｯｾｰｼﾞ〉を呼び出す

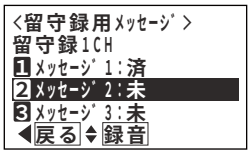
①◉を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉を押します。
③「7 ﾒｯｾｰｼﾞ録音」を選択し、◉を押します。
④「1 留守録用ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、◉を押します。

※機種により表示項目数が異なります。

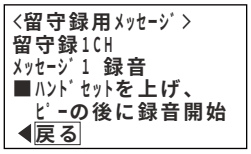
2 ◉で録音を行う留守録チャネルを選択し、◉を押す

3 ◉で録音を行うメッセージ番号を選択し、◉を押す

- 録音済のメッセージは「済」、未録音のメッセージは「未」を表示します。

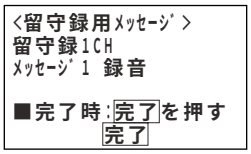


4 ハンドセットを上げて録音開始音「ピー」を待つ



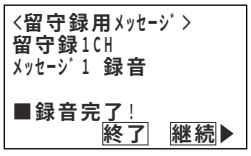
5 録音開始音「ピー」が聞こえたら録音を開始し、録音が完了したら◉を押してハンドセットを置く

- ◉を押さずにハンドセットを置いても録音完了となります。
- 録音時間が一杯（1件あたりの最大録音時間＝約60秒、または録音回路の録音時間が一杯になったとき）になっても、録音完了となります。



6 録音完了画面が表示される

- 終了する場合は、◉を押します。
- ◉を押すと操作2に戻り録音を繰り返すことができます。



転送電話モードを利用する

夜間や休日にかかってきた電話に対してあらかじめ設定したところに転送します。
●以下の6種類のモードがあります。

- ・転送電話モード…… 通常の転送電話です。転送先は1カ所です。
- ・追っかけ転送モード…… 1カ所目が応答しない場合は、2カ所目に転送します。
- ・ツイン転送モード…… 2カ所を同時に呼び出し、先に応答した方に接続します。
- ・不応答後転送モード…… 一定時間電話に出なかったときに転送します。転送先は1カ所です。
- ・不応答後追っかけ転送モード… 一定時間電話に出なかったときに転送します。1カ所目が応答しない場合は、2カ所目に転送します。
- ・不応答後ツイン転送モード…… 一定時間電話に出なかったときに転送します。2カ所を同時に呼び出し、先に応答した方に接続します。

転送先の電話番号を登録する

転送先電話番号をテナント毎に14カ所まで登録することができます。

また転送先を登録した 転送先01 ～ 転送先14 ボタンを電話機に作っておけば、ワンタッチで転送先を指定できるので、頻繁に変更する場合に便利です。

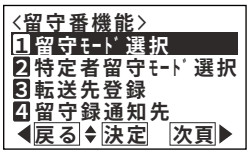
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401	下記＊参照	－

＊留守切替（981）または夜間切替00（900）～夜間切替07（907）S／夜間切替15（915）M Lのいずれか、および転送電話（941）～不応答ツイン転送（946）、転送先01（831）～転送先14（844）、転送先①切替（845）、転送先②切替（846）で必要なもの

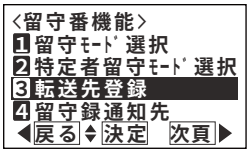
▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈留守番機能〉を呼び出す

①◉を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉を押します。
③「6 留守番機能」を選択し、◉を押します。



2 ◉で「3 転送先登録」を選択し、◉を押す

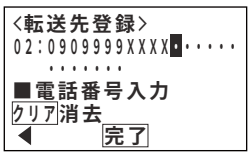


3 ◉で転送先番号（01～14）を選択し、◉を押す

- すでに登録されている場合は、現在の登録内容が表示されます。
- 転送先番号(01～14)は、転送先01～転送先14ボタンに対応します。

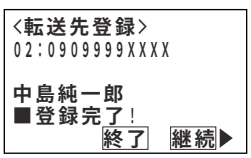
4 転送先の電話番号を入力し、◉を押す

- 変更する場合は、◉でカーソルを移動して必要な部分を変更できます。
- 電話番号をすべて消去すると、◉で操作3に戻ることができます。
- 電話番号をすべて消去して◉を押すと、転送先の電話番号を消去することができます。



5 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、◉を押します。
- ◉を押すと操作3に戻り、登録/変更を繰り返すことができます。



転送電話モードを利用する

転送電話をセットする

例として、留守切替操作で 転送電話 を選択し、転送先として転送先03を指定する操作方法を示します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401,401-1	下記＊参照	−

＊留守切替（981）または夜間切替00（900）～夜間切替07（907）S／夜間切替15（915）M Lのいずれか、および転送電話（941）～不応答ツイン転送（946）、転送先01（831）～転送先14（844）、転送先①切替（845）、転送先②切替（846）で必要なもの

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■プログラマブルキーでセットする

1 留守切替 ボタンを押す

- 留守切替 ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。

```
7月10日(金) AM10:10
NO.101 (中島一郎 )
留守録ｵﾝ メｯｾｰｼﾞ1
録音件数 010件
残時間 ■■■■■
着信音量
```

2 転送電話 ボタンを押す

- 転送電話 ランプが点灯します。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。

```
7月10日(金) AM10:10
NO.101 (中島一郎 )
転送電話ｵﾝ
転送先①中島一郎
着信音量
```

3 転送先03 ボタンを押す

- 転送先03 ランプが点灯します。
- 転送先03に登録されている電話番号または名前（共通電話帳登録時）がディスプレイに表示されます。

```
7月10日(金) AM10:10
NO.101 (中島一郎 )
転送電話ｵﾝ
転送先①山田健次郎
着信音量
```

補足説明

●操作1で、利用したいモードが表示されている場合は、操作2を省略します。（前回セットしたモードはクリアされずに残りますので、モードの使い分けをしない場合は、2回目以降はワンタッチでセットできます。）
転送先を変更しない場合は、操作3も省略します。

●留守切替 ボタンの代わりに 夜間切替( ) ボタンを押すこともできます。

●転送電話を解除する場合は、セットした 留守切替 ボタンまたは 夜間切替( ) ボタンを押します。解除されるとランプが消えます。

●操作3で、転送先( ) ボタンの代わりに 転送先( )切替 ボタンを押して、転送先番号を順次切り替えることができます。
例えば、転送先①の現在の設定が転送先03の場合、 転送先①切替 ボタンを押下する毎に転送先04→転送先05→･･･転送先13→転送先14→転送先01→･･･転送先03の順に切り替わります。
この場合、 転送先( ) ボタンが設定されていると、該当する 転送先( ) ランプも点灯します。

●転送先の電話番号が13桁以上の場合は、ディスプレイには先頭の12桁が表示されます。

●指定した転送先が共通電話帳に登録されている場合は、電話番号の代わりに名前が表示されます。

●電話をかけてきた方に音声メッセージ（転送メッセージ）を流して転送することもできます。固定メッセージ「ただいま電話を呼び出しております。しばらくお待ちください。」、または録音したメッセージ（P307）を利用することができます。[工事者設定401-1]

ご注意

●転送電話の通話は、約30分で強制的に切れます。（切れる10秒前に、“ピー”という警報音が通話をしている人に聞こえます。）
※通話時間は、10～150分、10分単位で変更することもできます。[工事者設定401-1]

●転送先が2カ所の転送電話（ツイン転送や追っかけ転送）を選択するとき、 転送先( ) ランプが1個点灯しているときに別の 転送先( ) ボタンを押すと、2カ所目の転送先として登録されます。更に別の 転送先( ) ボタンを押すと、1カ所目からの登録となります。

転送電話モードを利用する

知っていると便利なこと

- ●モードの選択や、留守切替のON/OFF、夜間切替のON／OFF、転送先の選択等は、外出先からのリモート操作で行うこともできます。⇒P148
- ●転送電話で転送先を呼び出している間は、電話に出ることもできます。[工事者設定401-1]
- ●転送先が話し中や応答しなかったときは、相手の方にメッセージを流したり、相手の方の用件を録音することもできます。[工事者設定401-1]
- ●転送電話の通話内容を録音回路（RECU）やボイスメールで録音することができます。通話内容は着信外線のテナントに対応した留守録ボックス（RECUの場合）／留守番代行ボックス（ボイスメールの場合）に録音されます。[工事者設定401-1]

メニュー機能で転送電話のモードに切り替える

メニュー機能を利用し、専用のボタンがなくても留守番機能のモード切替や転送先選択を行うことができます。

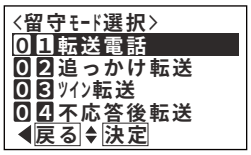
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401	−	−

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

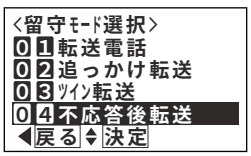
■転送電話のモード（転送先1カ所）に切り替える

1 メニューから〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉を呼び出す

①◉を押します。
②「7 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉を押します。
③「6 留守番機能」を選択し、◉を押します。
④「1 留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、◉を押します。

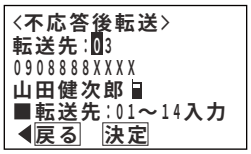


2 ◉で使用するモードを選択し、◉を押す



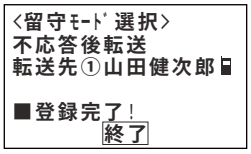
3 転送先番号（01～14）を入力し、◉を押す

・◉を押す前は、転送先番号の入力をやり直すことができます。



4 登録完了画面が表示される

・◉を押すと終了します。



プログラマブルキーの登録方法

使用していない 外線 ボタンをワンタッチダイヤルや機能ボタンに設定して自分にあった電話機にできます。

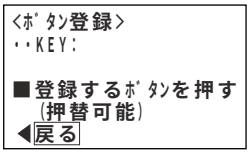
自電話機への登録

自分の電話機にプログラマブルキーを設定します。

■機能番号を入力して登録する

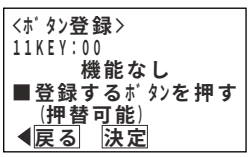
1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

①◉を押します。
②「6 電話機毎機能設定」を選択し、◉を押します。
③「2 ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、◉を押します。
・ i ボタン＋ ✳ ✳ を押しても本画面となります。

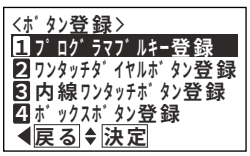


2 登録するボタン（使っていない 外線 ボタン）を押し、◉を押す

・現在登録されている機能名称が表示されます。

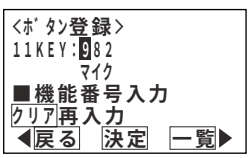


3 ◉で「1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録」を選択し、◉を押す



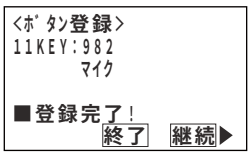
4 登録する機能番号を入力し、◉を押す

・機能番号を入力すると、キー名称も表示されます。
・カーソルが先頭にあるときは、再入力することができます。



5 登録完了画面が表示される

・終了する場合は、◉を押します。
・◉を押すと（省略可能）操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



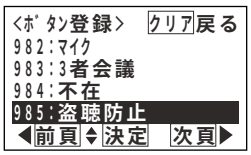
■ボタン一覧から選んで登録する

登録する機能番号を入力する代わりに「ボタン一覧」から検索して登録することができます。

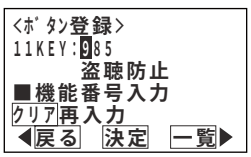
「■機能番号を入力して登録する」の操作4で◉を押す代わりに◉を押した後、下記の操作を行います。

5 ◉で検索し、◉を押す

・操作4で表示している機能番号を先頭に機能番号順に一覧表示します。
・フック/クリア ボタンを押すと、操作4に戻ります。
・◉を押すと、前後の4件を表示します。

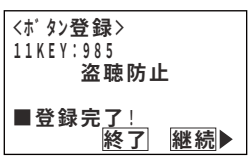


6 内容を確認し、◉を押す



7 登録完了画面が表示される

・終了する場合は、◉を押します。
・◉を押すと（省略可能）操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



付 録

電話機ご利用者名	内線番号

iEシリーズ電話機の使い方順序早見表

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…ハンドセットをとる　↱…ハンドセットを置く(戻す)　(外)…外線ボタン　[内線]…内線ボタン
(　)…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）　[フック/クリア]…フックボタン　〈 〉…操作中
□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。　[シ]…システム共通機能
[デ]…データ設定用電話機からのみ設定可　[切替]…モード切替用電話機からのみ設定可　■…機能ボタン
設定・登録操作は、メニュー機能の一覧（P11～）を参照してください。

項目			操作手順	記事
外線通話関係	電話をかける	ハンドセットをとってかける	↰→(外)→電話番号□…□	
		ハンドセットをとるだけでかける	↰→電話番号□…□　（注）本機能を設定した場合、内線に電話をかけるときは[内線]ボタンを押してください。	[設]
		ハンドセットをとらずにかける	(外)→電話番号□…□	
		(外)を押さずにかける	□〔初期0〕→電話番号□…□	[設]
		電話番号を確認してからかける(プリセットダイヤル)	電話番号□…□→(外)	
		発信履歴から検索して電話をかける	◎→◎（電話をかけたい履歴を表示）→(外)	
		相手がお話し中のとき（スーパーリトライ）	<オンフックダイヤル>→話中音→[再発信]→アラーム（ピピ）が聞こえたら[再発信]	
		電話帳を使って電話をかける	[短縮／電話帳]（[短縮／電話帳]）→文字入力□…□→◎→◎（相手を表示）→(外)	
		短縮ダイヤルを使ってかける	(外)→[短縮／電話帳]→短縮番号□□□□0000～9999 または□□□000～999 または□□00～99 または□0～9	※
		ワンタッチダイヤルでかける	(外)→(　)（ワンタッチダイヤルを登録したボタン） (　)（ワンタッチダイヤルを登録したボタン）	
		電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴）	◎→◎（電話をかけたい履歴を表示）→(外)	
	電話を受ける	電話を受ける	↰→(外)　※[着信/メッセージ]ランプが点滅していないとき	
		ハンドセットをとるだけで電話を受ける	↰（ハンドセットをとるだけ）　※[着信/メッセージ]ランプが速点滅しているとき	
	保留	外線保留	<外線通話中>[保留]	
		自己保留	<外線通話中>(自己保留)	
	転送	転送	<外線通話中>[内線]→内線番号□…□→<内線通話>→↱	
		簡易転送	<外線通話中>[内線]→内線番号□…□→↱	
	外線指定捕捉		↰→特番□（または□□）→外線番号□□	[設]
	外線アッドオン		<外線通話中>[内線]→内線番号□…□→<内線通話>→(3者会議)	
	2外線アッドオン		<外線通話中>[内線]→(外)→（電話番号□…□）→<外線通話>→(3者会議)	
	外線通話モニタ		(聴話)→モニタしたい(外)（内線番号）	
	外線割込通話		↰→割り込みたい(外)	[設]

※初期設定の場合、短縮ダイヤル発信時に押す短縮番号は4桁（電話帳内の短縮番号と同一桁数）ですが、主装置側の設定により電話機毎に1～3桁に変更することもできます。ただし、1～3桁の場合は使用できる短縮番号が限定されます。<プログラム版数2-1版より>

付 録

電話機ご利用者名	内線番号

iEシリーズ電話機の使い方順序早見表

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…ハンドセットをとる　↱…ハンドセットを置く(戻す)　(外)…外線ボタン　[内線]…内線ボタン
(　)…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）　[フック/クリア]…フックボタン　〈 〉…操作中
□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。　[シ]…システム共通機能
[デ]…データ設定用電話機からのみ設定可　[切替]…モード切替用電話機からのみ設定可　■…機能ボタン
設定・登録操作は、メニュー機能の一覧（P11～）を参照してください。

項目			操作手順	記事
外線通話関係	トーン切替	手動	＜外線通話中＞[#]→番号□…□	
		自動	＜外線通話中＞→番号□…□	[設]
	転送電話（手動）		＜外線通話中＞[内線]→(外)→電話番号□…□→＜外線通話＞→↱	[設]
内線通話関係	内線個別呼出 内線発信		[内線] または↰→内線番号□…□、[スピーカ]→内線番号□…□	
	内線個別呼出 内線音声呼出		[内線] または↰→内線番号□…□→[米]、[スピーカ]→内線番号□…□→[米]	
	内線一斉呼出		[内線] または↰→[7][0]	
	内線一斉呼出への応答		[内線] または↰→[7][7]	
	内線グループ呼出		[内線] または↰→□□〔グループ1：71、グループ2：72、グループ3：73、グループ4：74 M L〕	
	内線保留		＜内線通話中＞[保留]　再応答：↰→[保留]	
	内線パーク保留		＜内線通話中＞[保留] または(内線パーク)　再応答：↰→(内線パーク)	[設]
	内線転送		＜内線通話中＞[内線]→内線番号□…□→＜内線通話＞→↱	
	内線3者通話		＜内線通話中＞[内線]→内線番号□…□→＜内線通話＞→(3者会議)	
	代理応答		[内線] または↰(代理応答)　同一グループ内のみ	
	ドアホン・テレビドアホン着信の応答		ドアホン着信表示設定電話機　↰	オプション [設]
			ドアホン着信表示設定なし電話機　↰→特番□（または□□）	

付 録

電話機ご利用者名	内線番号

iEシリーズ電話機の使い方順序早見表

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…ハンドセットをとる　↳…ハンドセットを置く(戻す)　(外)…外線ボタン　[内線]…内線ボタン
(　)…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）　[フック/クリア]…フックボタン　〈 〉…操作中
□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。　[シ]…システム共通機能
[デ]…データ設定用電話機からのみ設定可　[切替]…モード切替用電話機からのみ設定可　■…機能ボタン
設定・登録操作は、メニュー機能の一覧（P11～）を参照してください。

項目		操作手順	記事
リモート操作モードまたはダイレクトインダイヤル（DID）を使って外部からコントロールする方法	リモート操作への入り方	＜一次応答信号を聞く＞[#]→（ユーザ用パスワード□□□□）＊ ＊リモート操作用電話機からの場合、またはパスワードが登録されていない場合は不要	[シ]
	①夜間切替	[0][1] ＋内線番号（※1）＋ [0]／[1]／[2]／[3] ＋ [#] 昼　夜　外出　休日	[シ]
	②留守切替	[0][2] ＋内線番号（※1）＋ [0]／[1] ＋ [#] OFF　ON	[シ]
	③留守録用件再生	[0][3] ＋ [0][1] ～ [0][7] ＋ [#] S 留守録ボックス1　留守録ボックス07	
		[0][3] ＋ [0][1] ～ [1][5] ＋ [#] M L 留守録ボックス1　留守録ボックス15	
	④内線ボックス再生	[0][3] ＋ [#] ＋内線ボックス番号＋ [#]（＋内線パスワード＋[#] ）＊ ＊内線パスワードが0000の場合は不要	[シ]
	⑤留守番モード切替	[0][4] ＋内線番号（※1）＋ [0][1] ～ [1][2] ＋ [#] 留守番モード1　留守番モード12	[シ]
	⑥転送先切替	[0][5] ＋内線番号（※1）＋ 転送先1カ所目 [0][1] ～ [1][4] ＋ 転送先2カ所目 [0][1] ～ [1][4] ＋ [#] 転送先1　転送先14　転送先1　転送先14	[シ]
	⑦転送先電話番号登録	[0][6] ＋内線番号（※1）＋ [0][1] ～ [1][4] ＋転送先電話番号＋ [#] 転送先1　転送先14	[シ]
	⑧不在転送＜外線への転送＞切替	[0][7] ＋内線番号＋ [0]／[1] ＋ [#] OFF　ON	[シ]
	⑨不在転送＜外線への転送＞転送先電話番号登録	[0][8]＋内線番号＋転送先電話番号＋[#]	[シ]
	⑩リモコン	[0][9] ＋ [1]／[2]／[3]／[4] ＋ [0]／[1] ＋ [#] リモコン1　リモコン2　リモコン3　リモコン4　OFF　ON	オプション [シ]
	⑪留守録通知先切替	[1][0] ＋（内線番号）（※1）＋ [1] ～ [7] ＋ [#] 連絡先1　連絡先7	[シ]

●留守番モード番号の内容は下記のとおりです。

01：転送電話　通常転送モード	05：転送電話　不応答後追っかけ転送モード	09：お話し中モード
02：転送電話　追っかけ転送モード	06：転送電話　不応答後ツイン転送モード	10：発信者選択モード
03：転送電話　ツイン転送モード	07：留守録モード	11：通常着信モード
04：転送電話　不応答後転送モード	08：応答専用モード	12：留守録+転送モード

※1：モード切替用電話機の内線番号を入力します。入力不要にした場合は、あらかじめ工事者設定されたテナント番号のみ切替・変更できます。（初期設定：入力不要、テナント01が対象）